

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境			0.36					3.0
1 音環境		2.2	0.15	-	-			2.2
1.1 騒音		1.0	0.40	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	-	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	-	-			
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.38	-	-			
2 外皮性能		3.0	0.25	-	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		3.3	0.25	-	-			3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	-	-			
1 昼光率	事務室3.59%	5.0	0.60	-	-			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	-	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 昼光制御		3.0	1.00	-	-			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.4	0.25	-	-			3.4
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	-	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	喫煙所を敷地内に別途設置	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.3
1 機能性		3.0	0.40	-	-			3.0
1.1 機能性・使いやすさ		1.6	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		1.0	0.33	-	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	-	-			
3 バリアフリー計画		1.0	0.33	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	事務所用途: 天井高さ2.8m以上	4.0	0.33	-	-			
2 リフレッシュスペース	事務所用途: 執務スペースの1%以上の休憩コーナー+自動販売機の設置	5.0	0.33	-	-			
3 内装計画		3.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		3.8	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	内装、外装ともに防汚性の高いものを採用	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	各階スロップシンの設置等で維持管理性に配慮	3.6	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.6	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	サンドイッチパネル(30年以上)を採用	5.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	工場等 壁:ケイカル板(ボード類耐用年数30年)	5.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	空調・換気設備の負荷容量を下げて運転可能	2.6	0.20	-	-	-
	2	給排水・衛生設備		4.4	0.20	-	-	-
	3	電気設備		1.0	0.20	-	-	-
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
	5	通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				3.9	0.30	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり				4.3	0.30	-	-	-
	1	階高のゆとり	事務所用途:階高5.23m,工場用途:平均階高3.7m以上3.9m未満	4.5	0.60	-	-	-
2	空間の形状・自由さ	工場・事務所用途共:基準階3階壁長さ比率=0.16	4.0	0.40	-	-	-	
3.2 荷重のゆとり				3.8	0.30	-	-	-
工場4500N/㎡以上、事務所4000N/㎡以上(大梁・地震荷重割増少)								
3.3 設備の更新性				3.7	0.40	-	-	-
1	空調配管の更新性	工場用途:ISSの設置	3.8	0.20	-	-	-	
2	給排水管の更新性	縦主管等PS内・横引き管天井配管	4.0	0.20	-	-	-	
3	電気配線の更新性	壁・天井配線スペース,OAフロア・PF管に配線	5.0	0.10	-	-	-	
4	通信配線の更新性	壁・天井配線スペース,OAフロア・PF管に配線	5.0	0.10	-	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.34	-	-	3.2
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				4.0	0.40	-	-	4.0
既存緑地を一部保存している								
3 地域性・アメニティへの配慮				3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上				4.0	0.50	-	-	-
敷地内に緑地・中・高木を計画し、日影形成等に配慮								
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制				5.0	0.12	-	-	5.0
複層ガラス等の採用により建物外皮の熱負荷を抑制								
2 自然エネルギー利用				3.0	0.11	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化				4.9	0.55	-	-	4.9
BEI 非住宅 0.71 住宅(専有部) -								
集合住宅以外の評価(3a,3b)				4.9	1.00	-	-	-
LED照明、空冷ヒートポンプマルチエアコンの高効率機器の採用								
集合住宅の評価(3c)				-	-	-	-	-
4 効率的運用				2.5	0.22	-	-	2.5
集合住宅以外の評価				2.5	1.00	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み				5.0	0.20	-	-	-
躯体+軽鉄+仕上材+設備が容易に解体可能、事務所OAフロア採用								
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.6	0.20	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				2.5	0.70	-	-	-
1	消火剤		-	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	-	
3	冷媒		2.0	0.50	-	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮				3.7	0.33	-	-	3.7
ライフサイクルCO2排出率=81%								
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪台数は将来の人員増を見込む	4.0	0.25	-	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				2.3	0.40	-	-	-
1	騒音		3.0	0.33	-	-	-	
2	振動		1.0	0.33	-	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-	
3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	ガイドラインチェックリストの過半を満たす。広告物照明なし。	4.0	0.70	-	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-	